

下松市上下水道事業審議会

【第2回】 将来の見通し

令和8年2月5日（木）



下松市上下水道局

第1回審議会のおさらい（令和7年8月27日）

【現状と課題】

・水道事業とは

- ・ 経営の仕組み
- ・ 会計の仕組み
- ・ 下松市水道事業の概要
- ・ 経営状況
- ・ 施設状況
- ・ 資料映像

【水道法第一条】

清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする。

清浄

きれい

公衆衛生の向上
生活環境の改善

豊富

たくさん

低廉

安価×適正額

第1回審議会のおさらい（令和7年8月27日）

【現状と課題】

- ・ 水道事業とは
- ・ 経営の仕組み
- ・ 会計の仕組み
- ・ 下松市水道事業の概要
- ・ 経営状況
- ・ 施設状況
- ・ 資料映像

水道事業の経営は 独立採算制です



第1回審議会のおさらい（令和7年8月27日）

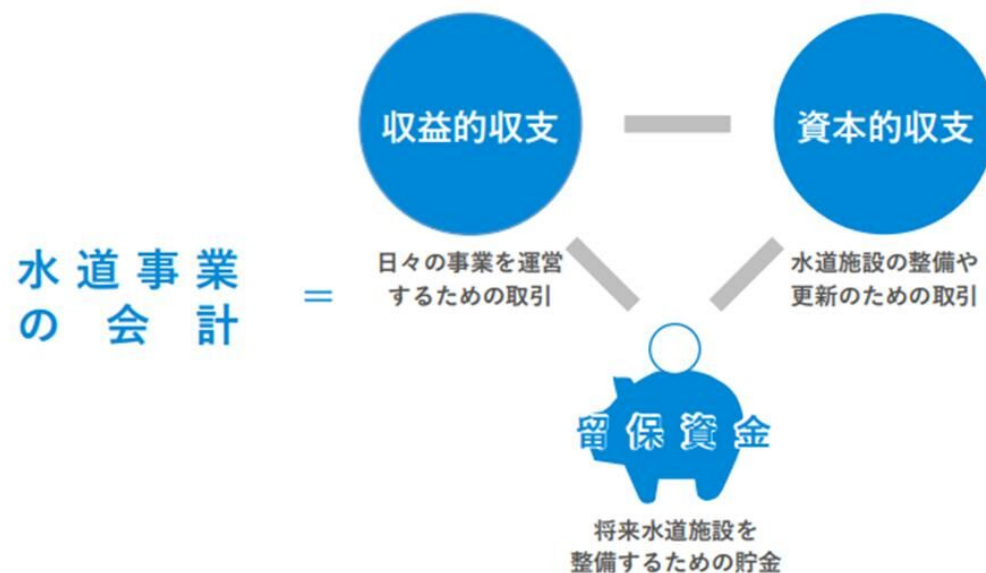
【現状と課題】

- ・ 水道事業とは
- ・ 経営の仕組み

・ 会計の仕組み

- ・ 下松市水道事業の概要
- ・ 経営状況
- ・ 施設状況
- ・ 資料映像

水道事業会計は、
次の3つに分かれています。

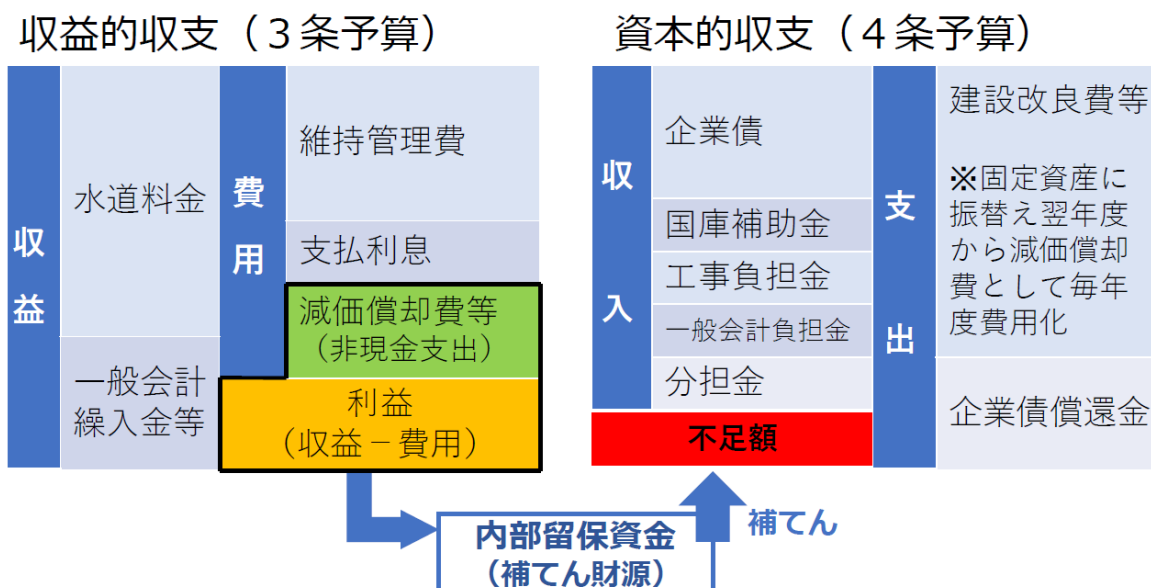


第1回審議会のおさらい（令和7年8月27日）

【現状と課題】

- ・ 水道事業とは
- ・ 経営の仕組み
- ・ **会計の仕組み**
- ・ 下松市水道事業の概要
- ・ 経営状況
- ・ 施設状況
- ・ 資料映像

資本的収支（4条予算）の不足分を内部留保資金で補てんしています。



※減価償却費等・利益は、内部留保資金（補てん財源）となる。

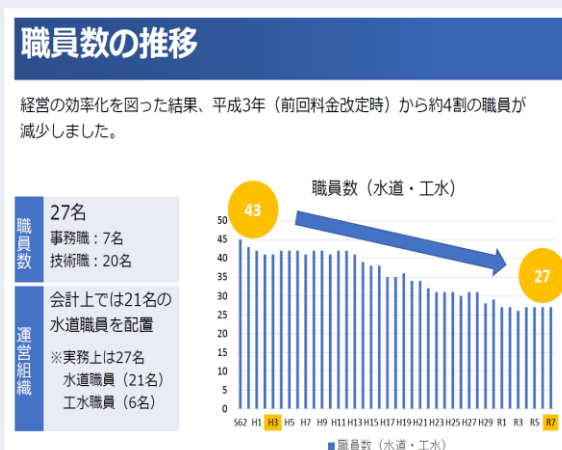
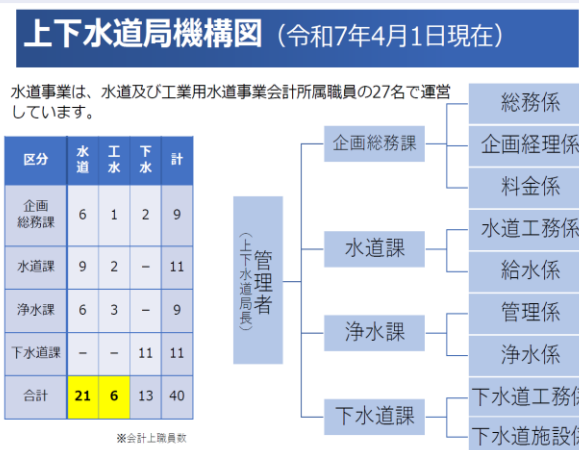
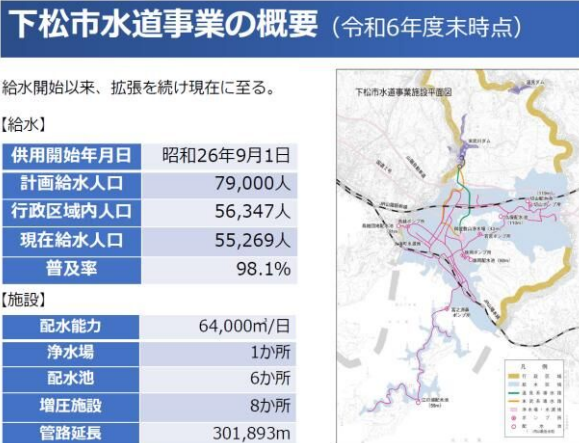
第1回審議会のおさらい（令和7年8月27日）

【現状と課題】

- 水道事業とは
- 経営の仕組み
- 会計の仕組み

下松市水道事業の概要

- 経営状況
- 施設状況
- 資料映像



第1回審議会のおさらい（令和7年8月27日）

【現状と課題】

- 水道事業とは
- 経営の仕組み
- 会計の仕組み

下松市水道事業の概要

- 経営状況
- 施設状況
- 資料映像

現在の水道料金体系（H3/4/1～）※1ヶ月分 税抜き

水道料金				メーター使用料	
用途別	最低料金 (1ヶ月あたり)		超過料金	口径 (mm)	料金 (円)
	基本 水量	料金			
家事用	10m ³	680円 ※3m ³ 以下380円	30m ³ まで 68円/m ³ 30m ³ を超えるもの77円/m ³	13	35
営業用	10m ³	680円		20	45
公衆浴場用	100m ³	3,800円	1m ³ につき38円	25	50
市立施設用	10m ³	680円	1m ³ につき68円	40	100
船舶 臨時用	1m ³	134円	1m ³ につき134円	50	800
私設消火栓	1個 1回	10分ごとに368円		75	1,100
				100	1,400
				150	2,600
				200	4,100
				250	6,500

下松市水道料金安さの理由

- 豊富な水源**
温見ダムと末武川ダム（米泉湖）2つの県営ダム
- 自然流下による配水**
浄水場が高地にある→市内約6割の世帯に自然流下で配水可能 動力費抑制
- 大口ユーザーの存在**
経済活動が活発なため、安定した収益がある

住みよさランキングにも貢献

住みよさ
ランキング

全国
8位

(2025年 東洋経済新報社)

水道料金の価格

下松市 : 1,833円/月
全国平均 : 3,300円/月
(1ヶ月あたり口径13mm 使用量24m³)

全国
4位

項目	順位	算出に用いた統計指標 (人口当たり)
安心度	201位	・病院、一般診療所病床数 ・子ども医療費助成 ・刑法犯認知件数 など
利便度	74位	・小売業年間販売額 ・大型小売店店舗面積 など
快適度	52位	・転入、転出口比率 ・水道料金 など
富裕度	209位	・財政力指数 ・法人市民税 など

県内13市水道料金比較表

(令和7年4月1日現在)



令和5年度「山口県の水道の現況」を基に作成

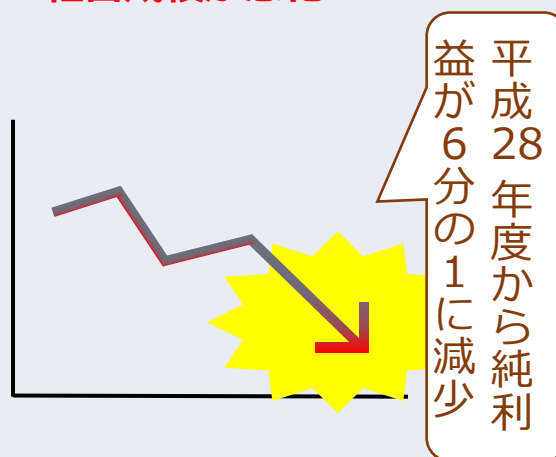
第1回審議会のおさらい（令和7年8月27日）

【現状と課題】

- ・ 水道事業とは
- ・ 経営の仕組み
- ・ 会計の仕組み
- ・ 下松市水道事業の概要
- ・ **経営状況**
- ・ **施設状況**
- ・ 資料映像

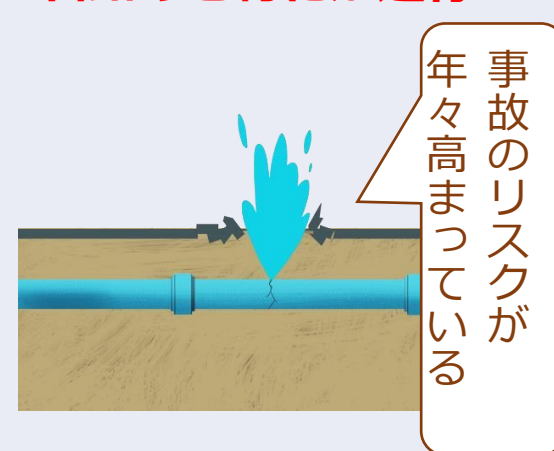
下松市水道事業の現状と課題

経営成績が悪化



- 水道料金収入の減少
- 物価高騰等による費用増加
- 原価割れ
- 資金残高が減少傾向
- 企業債残高が増加傾向

管路の老朽化が進行



重要度の高い基幹施設の耐震化を優先的に進めてきた一方で…

- 管路更新事業に遅れ
→全国の中でも
経年化率 **高**

第1回審議会のおさらい（令和7年8月27日）

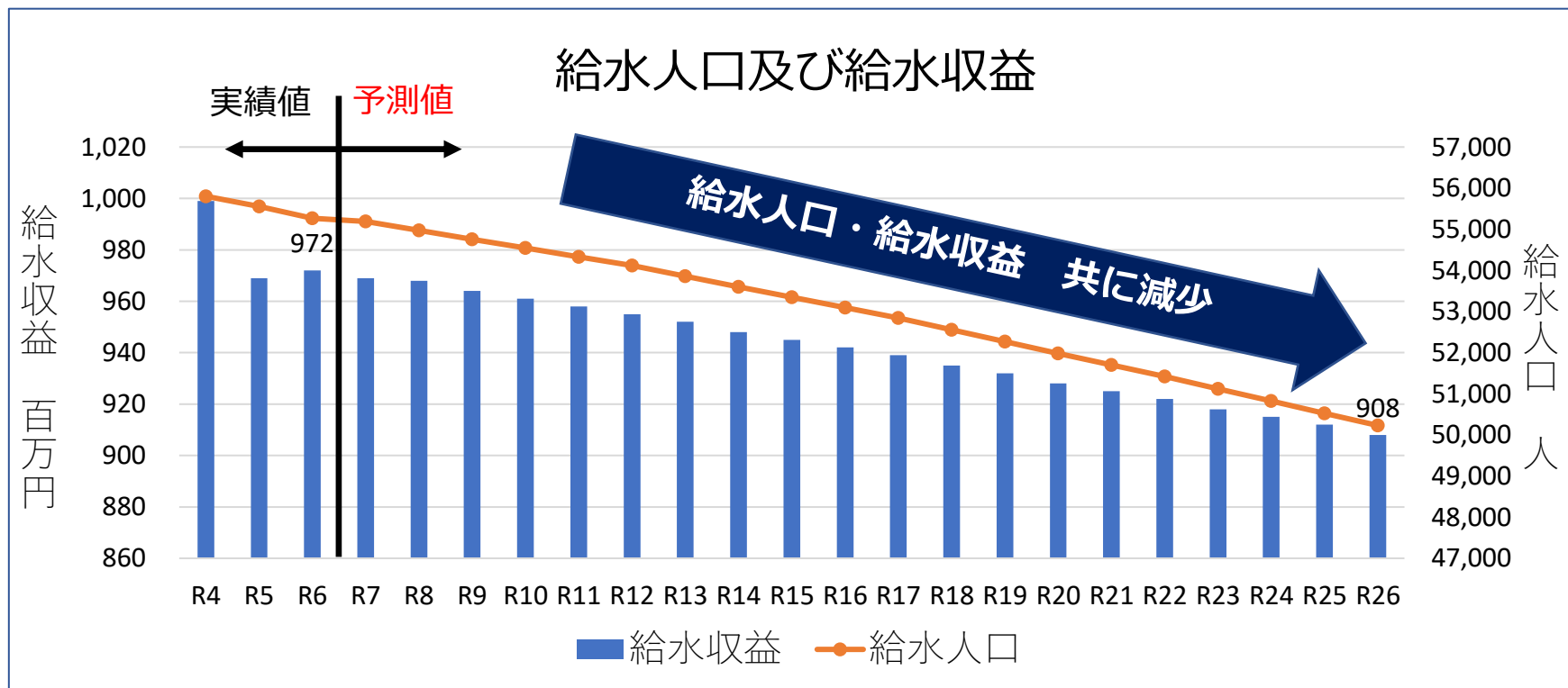
【現状と課題】

- ・ 水道事業とは
- ・ 経営の仕組み
- ・ 会計の仕組み
- ・ 下松市水道事業の概要
- ・ 経営状況
- ・ 施設状況
- ・ 資料映像

- ・ 特集
「進む水道管の老朽化 更新が進まぬワケ」
広テレ！News（2023年10月30日）



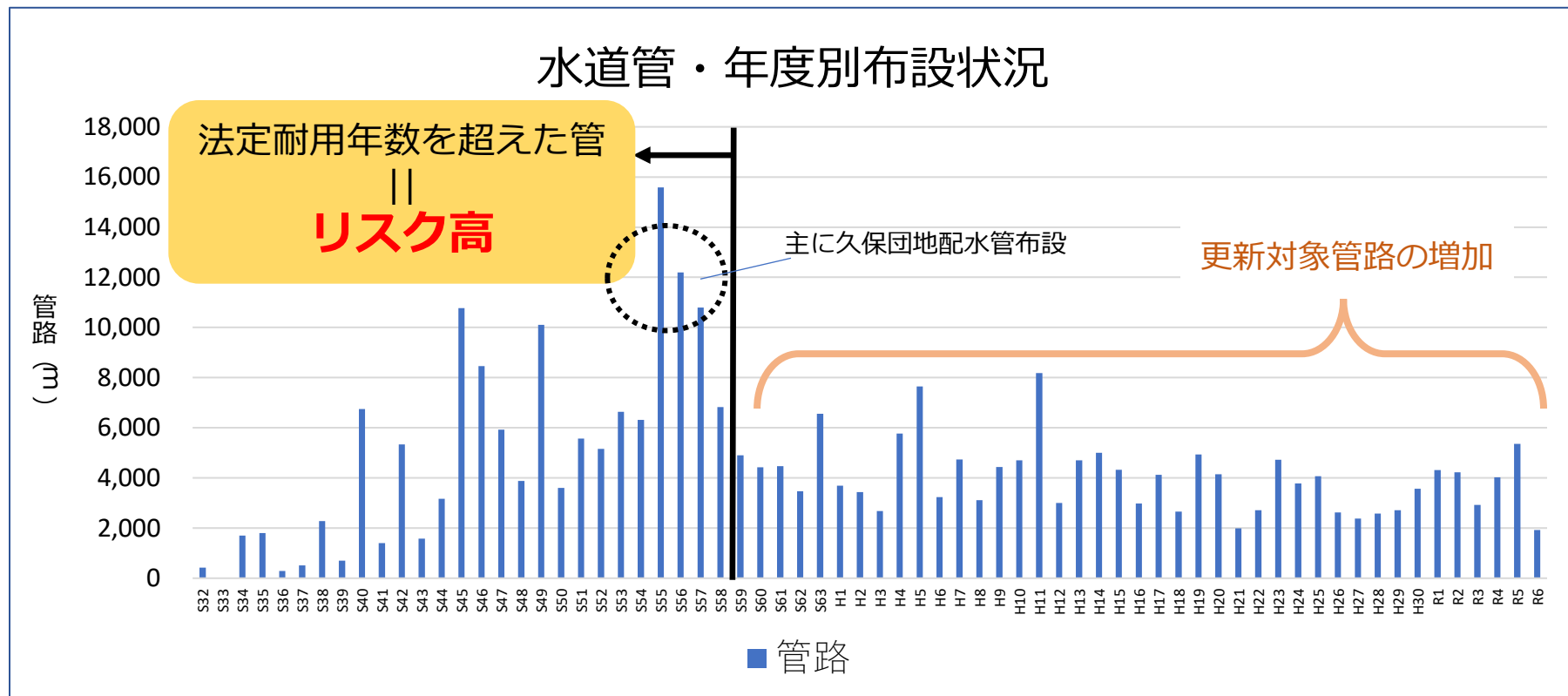
給水人口及び給水収益の予測



近年、本市の給水人口は減少に転じました。人口減少社会の到来や国内の状況を踏まえると、長期的に見ても給水人口は今後も減少していくと予測されます。

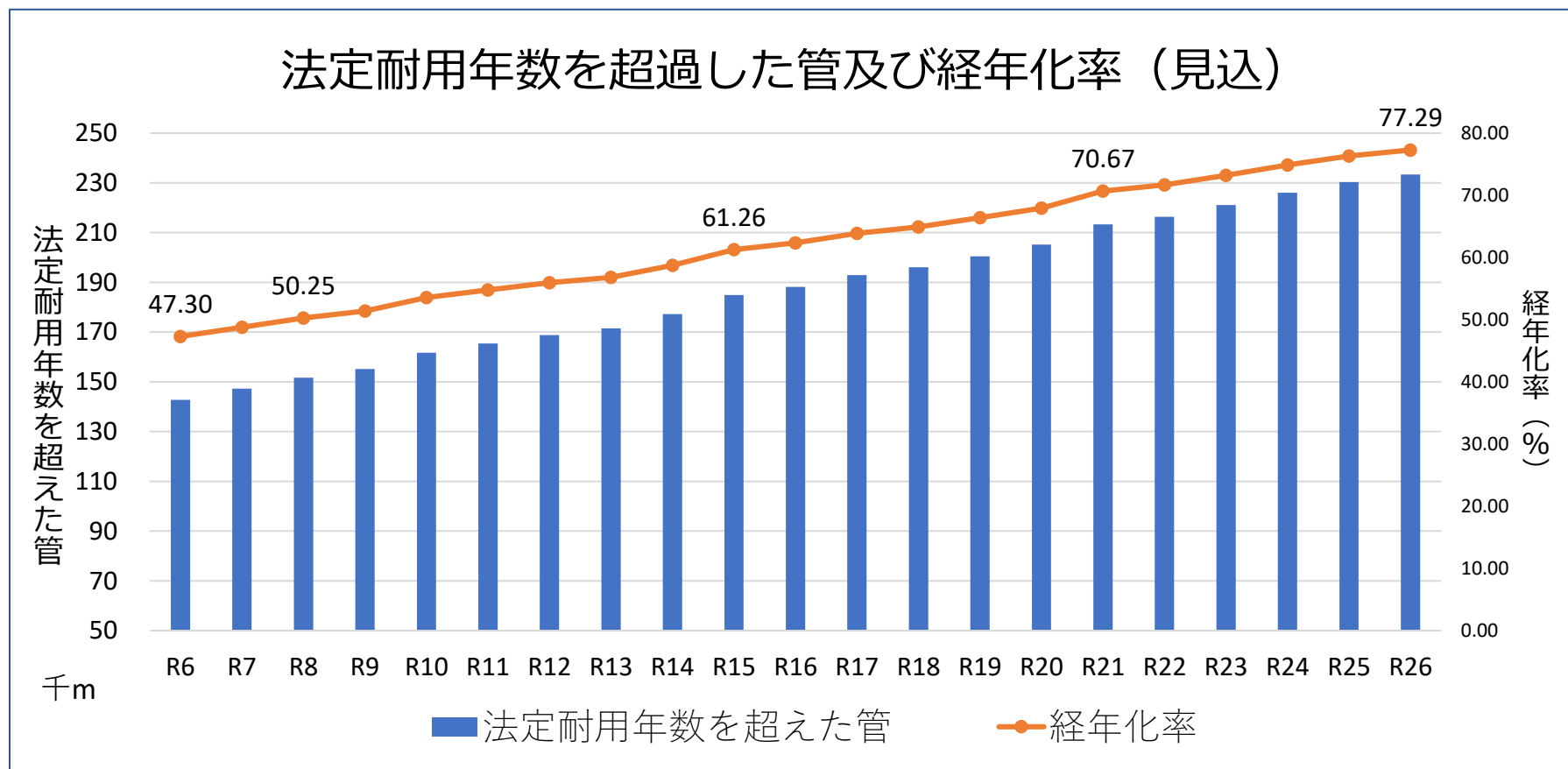
節水機器の普及、進化が拍車をかけ水需要は減少し、それに伴い給水収益も減少傾向になると見込まれます。

水道管・年度別布設状況



本市の水道施設は高度経済成長期に整備されたものが多く、更新時期を迎えています。水道管総延長は令和6年度末で約302kmに達し、法定耐用年数を超過した管は約143kmに及び経年化率は47.30%になりました。

法定耐用年数超えた管及び経年化率の見通し



このままの管路更新ペースで実施すれば、令和8年度には50%を超え、令和15年度には60%、令和21年度に70%に上昇する見込みです。

アセットマネジメント（資産管理）に基づいて、水道施設の更新を実施していきます。

アセットマネジメント手法

現有資産の状況を把握



中長期的な「更新需要」「財政収支」の見通しに基づく施設更新・資金確保の方策を検討



健全な水道施設（資産）を次世代へ確実に引き継ぐための指針を策定

下松市水道事業アセットマネジメント➔
(令和5年3月策定)

下松市水道事業アセットマネジメント

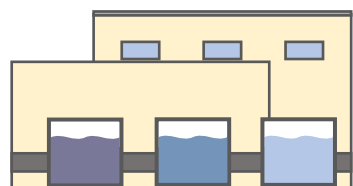


令和5年（2023年）3月
山口県下松市上下水道局

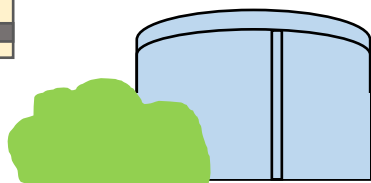
水道アセットマネジメントとは

水道施設(資産)例

浄水場



配水池



管路



それぞれの資産には、

法定耐用年数があります

(例：水道管は40年)

高度経済成長期に整備されたものが多く、今後法定耐用年数を迎えた更新需要が増加していく見込み



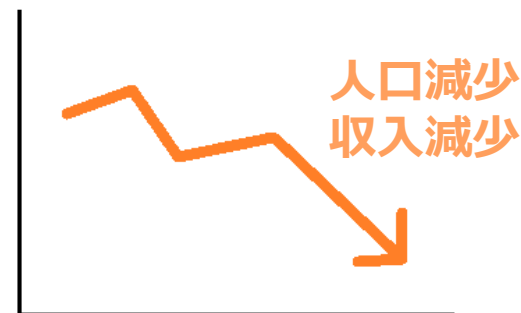
多額の更新費が必要

法定耐用年数：法令で定められた減価償却の耐用年数のこと

高度経済成長期：1955年～1972年

水道アセットマネジメントとは

水道事業を取り巻く経営環境は厳しく、水道施設を法定耐用年数で更新すると資金不足に陥る。



水道施設（資産）の中には、

法定耐用年数以上に使用できるものがある

例) ダクタイル鋳鉄管（法定耐用年数 40年）
管種によっては100年[※]使用可能と試算されている

※メーカー情報

水道アセットマネジメントとは

考え方

法定耐用年数ではなく、施設の特性を踏まえた使用年数（更新基準年数）を設定し、できる限り長期間使用することで、将来の更新需要の抑制や平準化を図る。



更新基準年数の設定

更新基準年数は、厚生労働省（当時の所管省庁）の設定例を参考に設定

施設区分	法定耐用年数	更新基準年数
建築構造物	50	70
土木構造物	60	73
機械設備	15	24
電気・計装設備	15	25

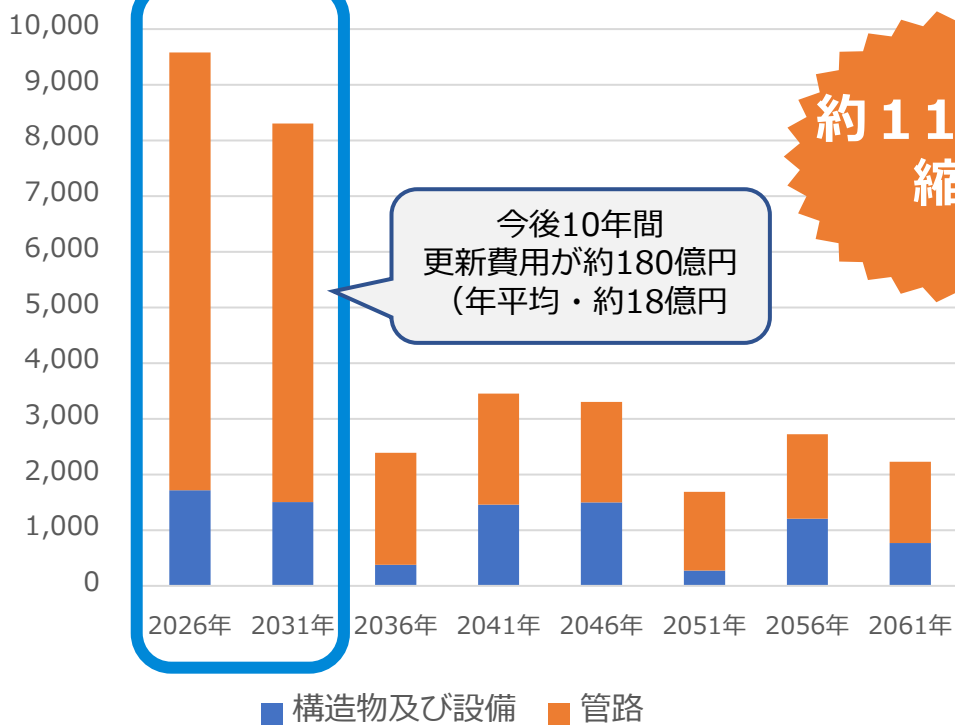
管種	法定耐用年数	更新基準年数	備考
CIP	40	50	
DIP		80	耐震継手
DIP-K		70	良い地盤に布設
DIP		60	その他
SP		70	溶接継手
SP		50	その他
VP		60	RRロング継手
VP		50	RR継手
VP		40	その他
PE		60	熱融着継手
PE		50	その他
SUS		60	耐震継手
SUS		50	その他

今後の更新需要見通し

2つの更新ケースで試算を行いました。

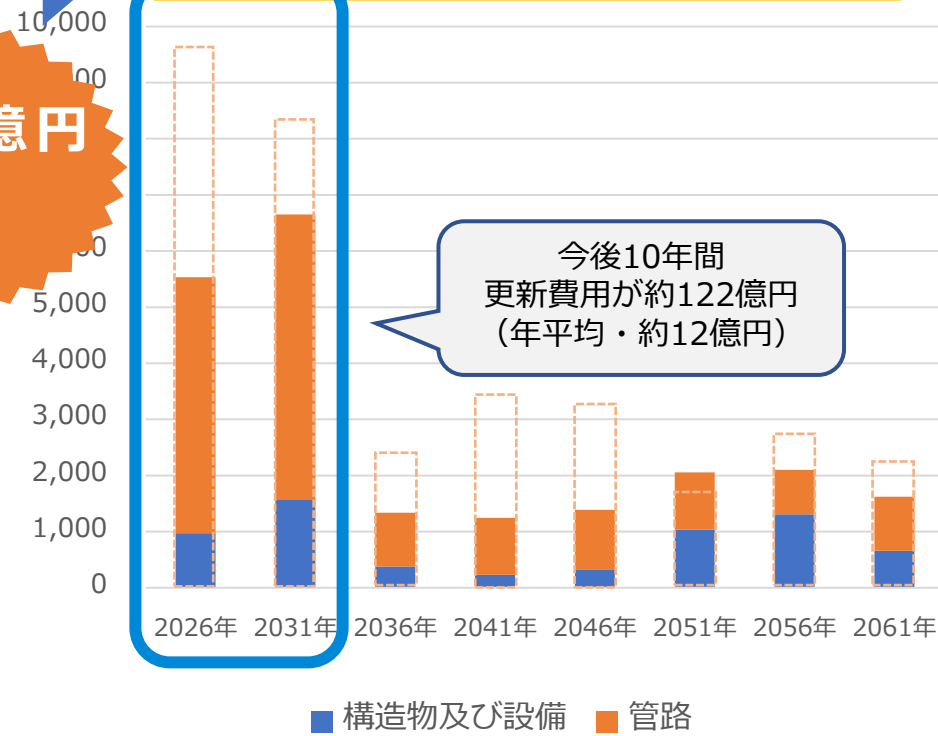
法定耐用年数で更新する場合

40年間の更新需要：約337億円
(年平均約8.4億)

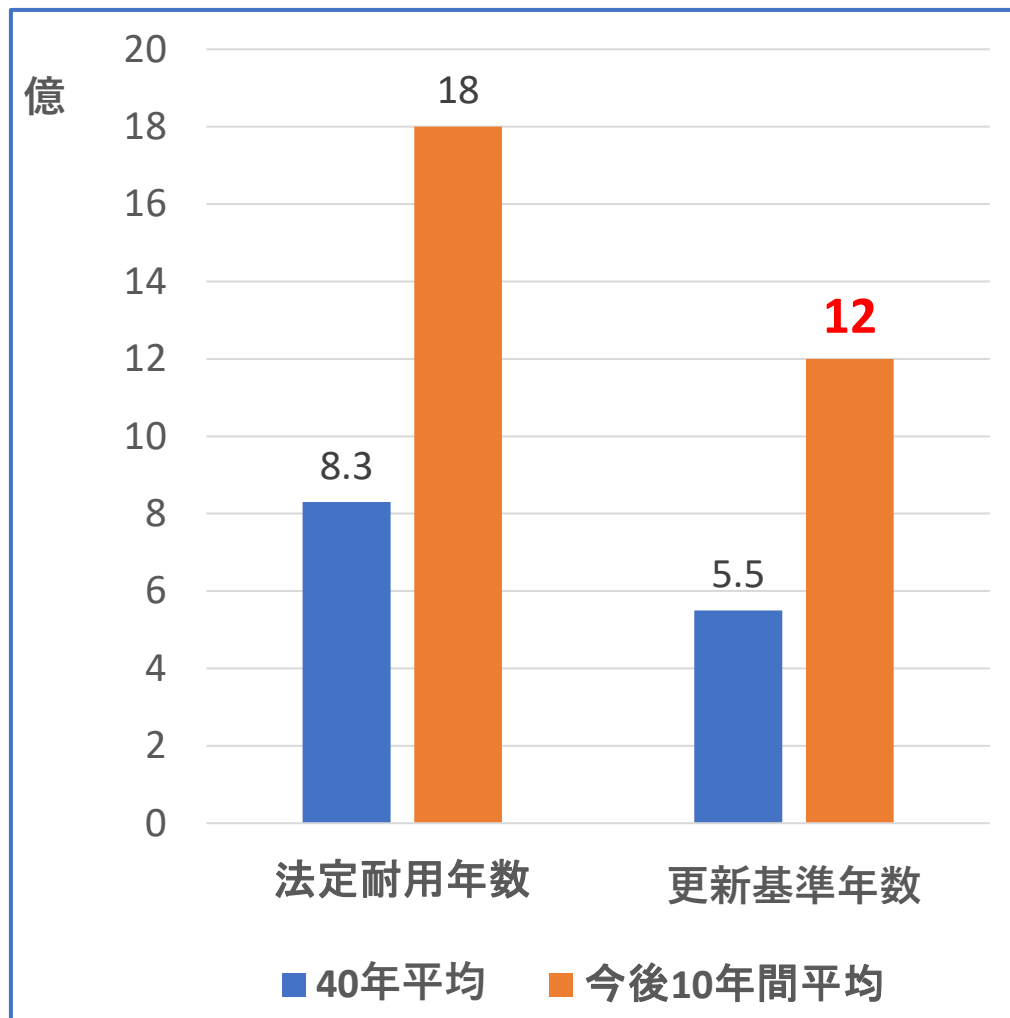


更新基準年数で更新する場合

40年間の更新需要：約220億円
(年平均約5.5億)



アセットマネジメント試算結果



更新基準年数を用いたとしても、

今後10年間で

年平均約12億円

の更新費用が必要

直近10年間の年平均建設改良費

[約6.3億円] の **約2倍**

財源確保が課題

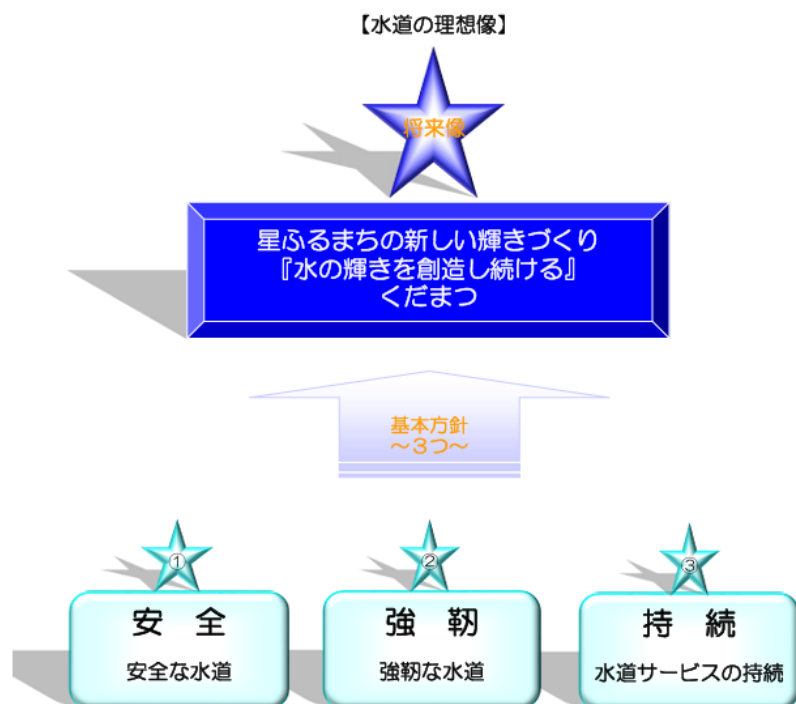
将来の見通し



下松市水道事業経営戦略（令和3年3月策定）

中長期的な視点から経営基盤の強化と経営の健全化を図るために、令和3年3月に「下松市水道事業経営戦略」を策定。策定から概ね5年が経過することから令和8年3月の見直しに向けて調整中。

★経営の基本方針



経営戦略とは

給水収益
の減少

施設の
老朽化

人口減少

水道事業を取り巻く情勢が厳しくなる中、経営基盤の強化と経営の健全化を図るため、平成26年8月に総務省が策定要請したものの。

本市でも令和3年3月に「下松市水道事業経営戦略」を策定しました →

下松市水道事業経営戦略

“星ふるまちの新しい輝きづくり”
『水の輝きを創造し続ける』くだまつ



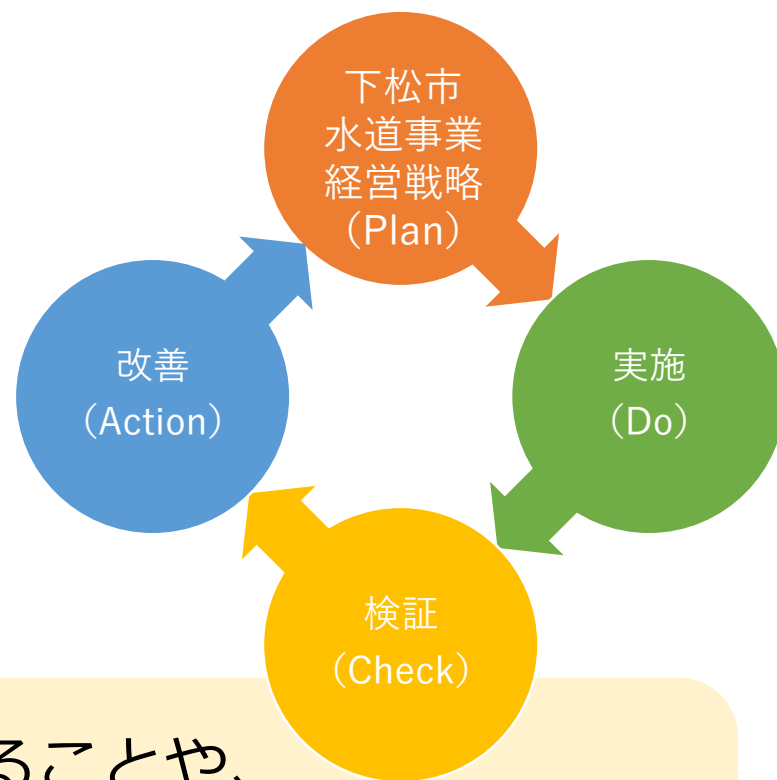
令和3年（2021年）3月

山口県下松市上下水道局

改定の目的

経営戦略策定以後、
さらに厳しい経営環境となっている

- 近年、行政区域内人口が減少に転じたことによる給水収益の減少
- 大口ユーザーの撤退・物価高騰

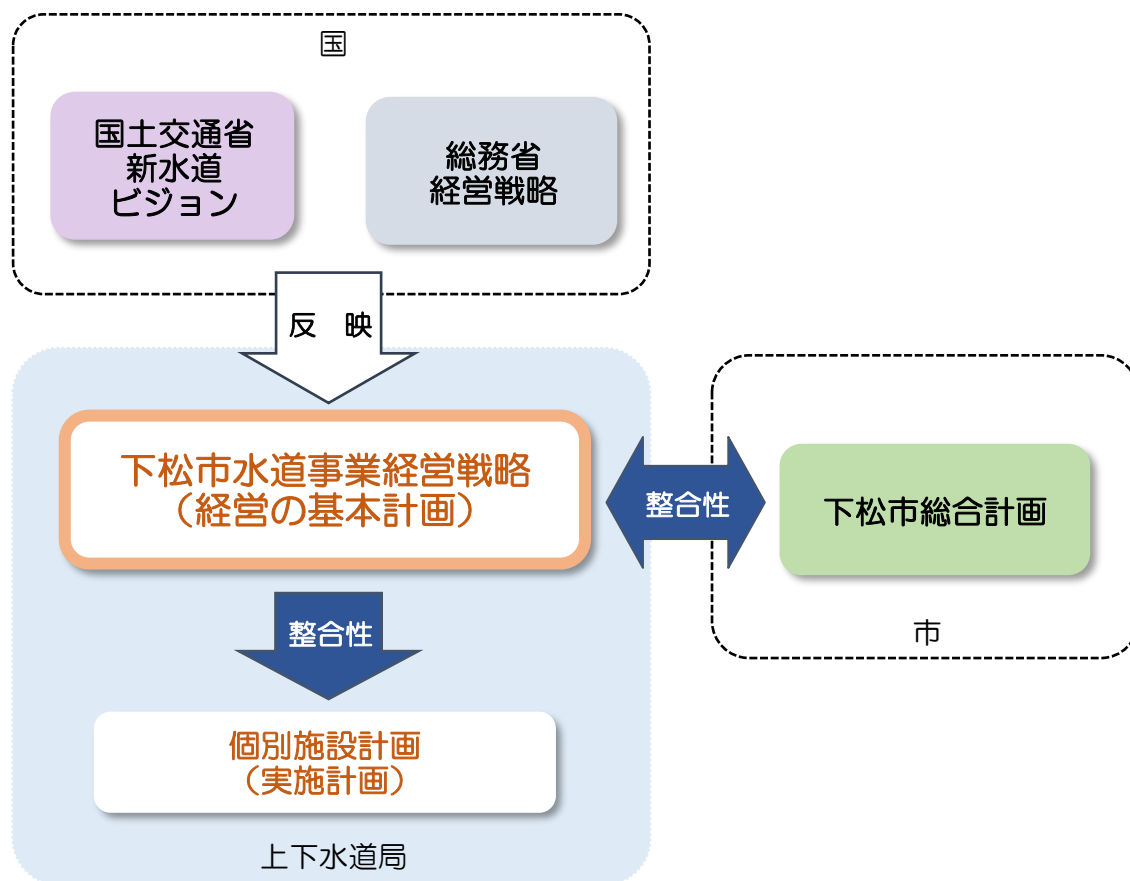


策定から概ね5年が経過していることや、
総務省通知「経営戦略の改定推進について」(令和4年1月)
を踏まえて改定する。

計画の位置づけ

下松市水道事業経営戦略 = 中長期的な経営の基本計画

「下松市総合計画」との整合性を図りながら、国土交通省が示した「新水道ビジョン」及び、総務省が策定を求める「経営戦略」としても位置づけている。

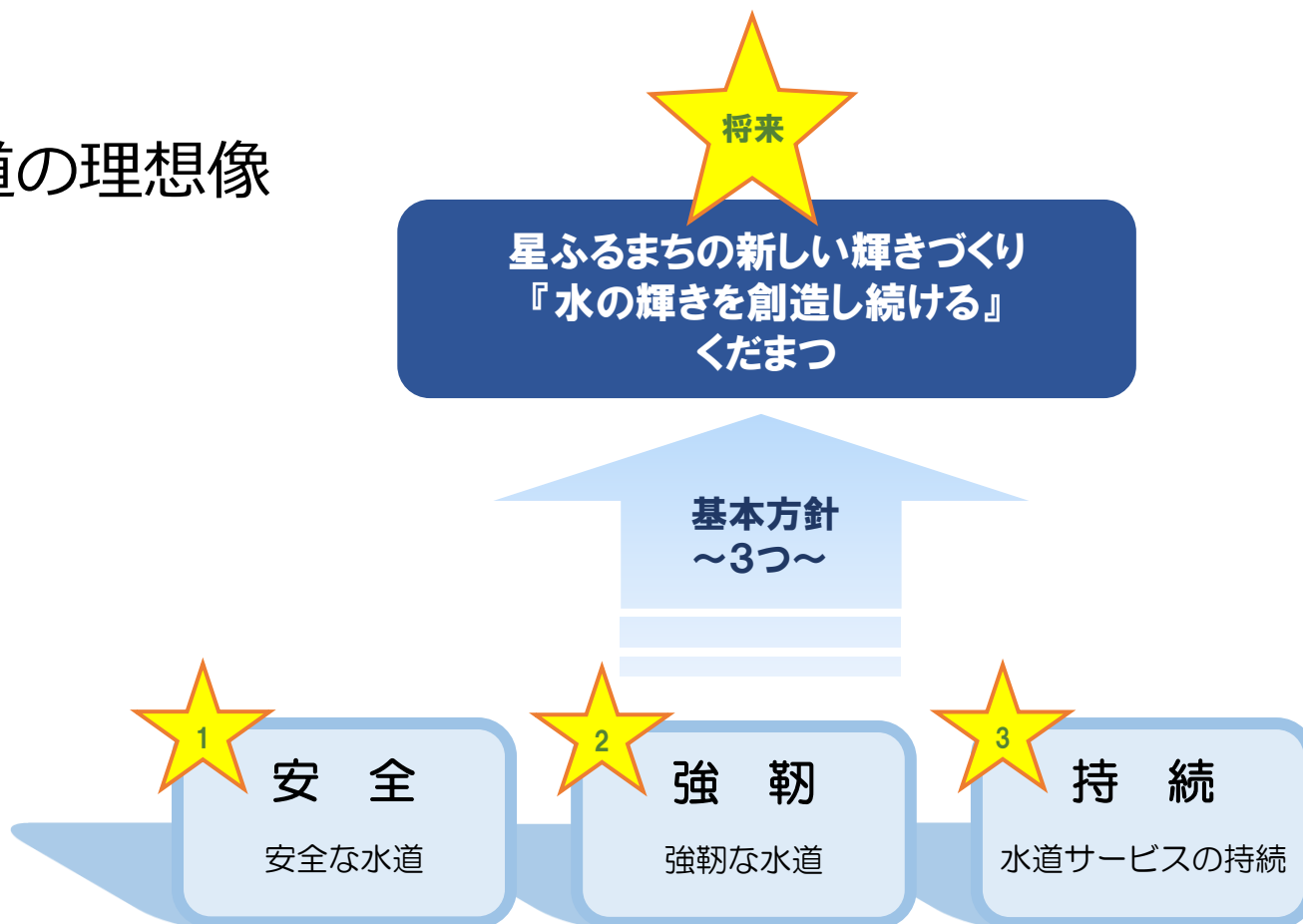


計画期間：令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間

経営の基本方針

国土交通省の「新水道ビジョン」が示す水道の理想像の3つの観点を踏まえて、経営基盤の強化・健全化を図り安定した事業運営に取り組む。

水道の理想像



施策の体系

経営の基本方針を基に取り組む具体的な項目は、下記のとおりです。

安全

安全な水道

- ・ 水道水源の保全
- ・ 水安全計画の適正な運用
- ・ 水質検査の徹底など

強靱

強靱な水道

- ・ 耐震化の推進
- ・ 老朽化対策の推進
- ・ 災害対応の充実、強化 など

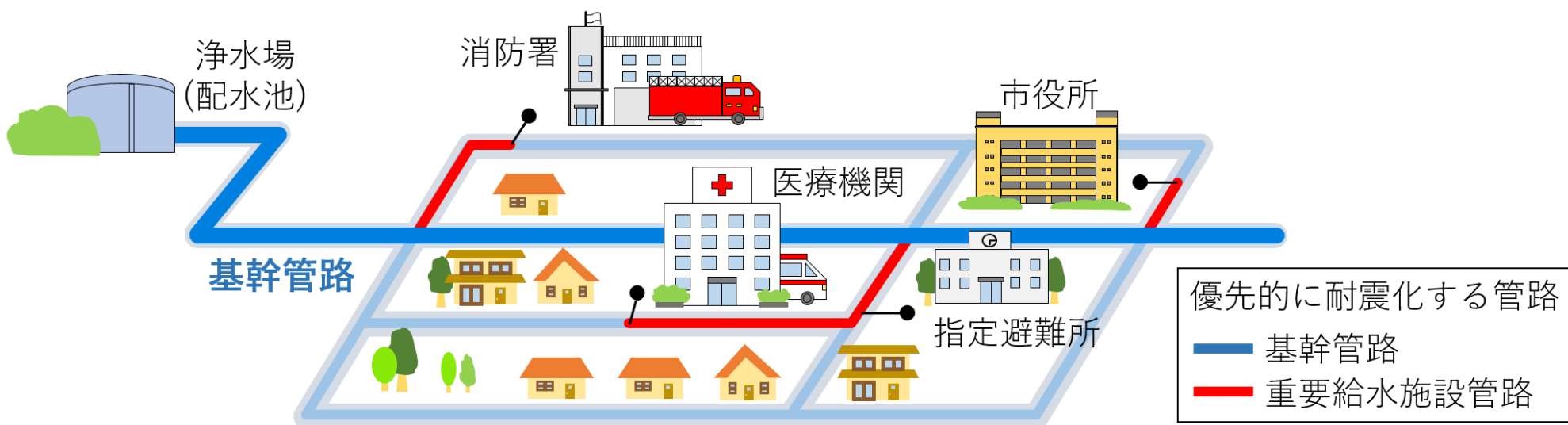
持続

水道サービスの持続

- ・ 漏水対策の強化
- ・ 人材確保及び育成
- ・ 危機管理体制強化
- ・ 水道DX導入の推進（新規）
- ・ 水道GXの推進（新規）
- ・ 水道料金の見直しなど

強靱：水道施設の耐震化の推進

重要給水施設（医療機関・指定避難所・防災拠点）向けへの管路耐震化を計画的に進めていきます。



重要給水施設管路の耐震化イメージ図

強靱：水道施設の耐震化の推進

市内各ポンプ所の耐震化を計画的に進めます。

特に主要ポンプ所である「若宮ポンプ所」は耐震性と立地面にリスクがあるため危機管理の観点から移設（新設）の計画を進めていきます。

■ 若宮ポンプ所更新事業概要

実施予定	令和8年度～令和11年度
総事業費	約12億円

現・若宮ポンプ所 ➡



強靱：水道施設の老朽化対策

老朽化した管路を更新基準年数（使用可能年数）に基づいて計画的に更新（耐震化）を進めていきます。

古い配水管（非耐震管）



抜けやすい



地震に強い配水管（耐震管）



引っかかって
抜けない



強靱：災害対応の充実・強化

地震などの災害時における「市民の飲料水を確保」という観点から、災害に備えて指定避難所に非常用給水栓の整備を計画的に進めます。

■ 応急給水栓整備

設置場所	下松市指定避難所
1基あたり	約250万円



非常用給水栓（出典：(株)北川鉄工所）

持続：水道DX導入の推進

水道事業は、施設の老朽化や職員の減少など様々な問題が顕在化しています。

持続的な水道事業を実現するためには、デジタル技術を活用し、業務の効率化・最適化を行う**DX**を推進していきます。



DX：デジタルトランスフォーメーション

持続：水道GX導入の推進

世界的に二酸化炭素の排出をゼロにする「カーボンニュートラル（脱炭素）」に関する取り組みが強化されています。

本市水道事業でも、脱炭素化に向けた取り組みとして**GX**を推進していきます。



GX：グリーントランスフォーメーション

持続：水道料金の見直し

水道事業を将来にわたり安定的に継続していくためには、水道料金の見直しを行い、
経営の基盤強化を図ることが必要となります。

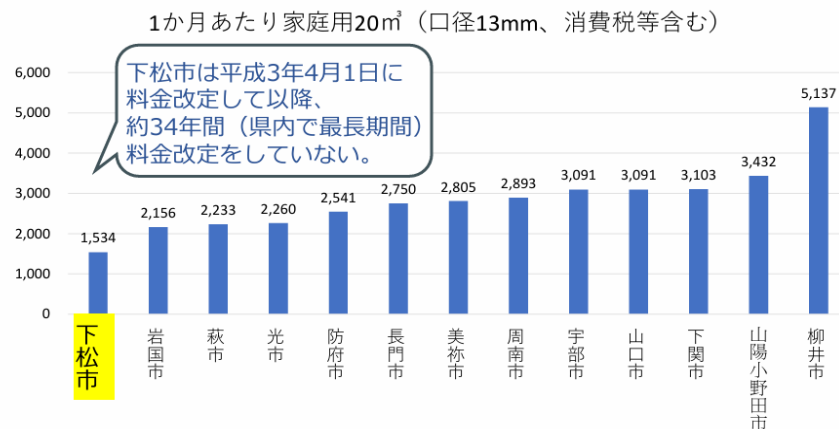


水道料金

用途別	最低料金 (1ヶ月あたり)		超過料金
	基本 水量	料金	
家事用	10m ³	680円 ※3m ³ 以下380円	30m ³ まで 68円/m ³ 30m ³ を超えるもの77円/m ³
営業用	10m ³	680円	
公衆浴場用	100m ³	3,800円	1m ³ につき38円
市立施設用	10m ³	680円	1m ³ につき68円
船舶 臨時用	1m ³	134円	1m ³ につき134円
私設消火栓	1個	1回	10分ごとに368円

メーター使用料

口径 (mm)	料金 (円)
13	35
20	45
25	50
40	100
50	800
75	1,100
100	1,400
150	2,600
200	4,100
250	6,500



令和5年度「山口県の水道の現況」を基に作成

持続：水道料金の見直し

健全経営の維持と今後の投資に必要な財源確保策

3年～4年毎に料金水準の検証を行う

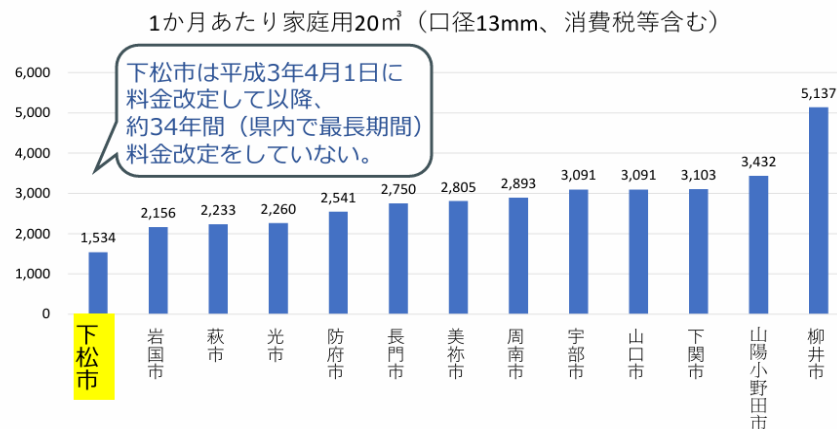
必要に応じて料金体系を見直す

水道料金

用途別	最低料金 (1ヶ月あたり)		超過料金
	基本 水量	料金	
家事用	10m ³	680円 ※3m ³ 以下380円	30m ³ まで 68円/m ³ 30m ³ を超えるもの77円/m ³
営業用	10m ³	680円	
公衆浴場用	100m ³	3,800円	1m ³ につき38円
市立施設用	10m ³	680円	1m ³ につき68円
船舶 臨時用	1m ³	134円	1m ³ につき134円
私設消火栓	1個	1回	10分ごとに368円

メーター使用料

口径 (mm)	料金 (円)
13	35
20	45
25	50
40	100
50	800
75	1,100
100	1,400
150	2,600
200	4,100
250	6,500



令和5年度「山口県の水道の現況」を基に作成

目標設定することにより経営の基盤強化を図ります

■採算性の確保

項目	令和6年度 (実績)	令和12年度 (目標)	令和17年度 (目標)
料金回収率	95.61%	100%以上	100%以上

給水に係る費用が給水収益で賄えるよう料金回収率を100%以上になることを目標とします。

■事業運営資金の確保

項目	令和6年度 (実績)	令和12年度 (目標)	令和17年度 (目標)
資金残高(千円)	1,420,881	1,200,000	1,200,000

安全な水の安定供給のため確保すべき事業運転資金として、12億円以上の資金(1年間の給水収益相当分)を確保することを目標とします。

■企業債残高の抑制

項目	令和6年度 (実績)	令和12年度 (目標)	令和17年度 (目標)
企業債残高 対給水収益比率	330.36%	350%程度以内	350%程度以内

世代間の公平性の観点から企業債残高対給水収益比率は、今後増大する施設更新や物価高騰等を考慮し、給水収益の約350%(3.5倍)程度以内を目安とします。

財政収支のシミュレーションをしています

計画期間内の収支計画について、現行の水道料金を維持した場合と水道料金を見直した場合で財政収支を試算しています。

- ・ 現行の水道料金体系を維持した場合
- ・ 水道料金を見直した場合

改定時期：令和9年度

料金改定：県内で2番目に安い水道料金と同水準

(その他) 章の改正を行いました

現・経営戦略第6章では詳細な整備計画を記述していましたが、現在「重要給水施設管路耐震化計画」等の個別施設計画で詳細を定めているため削除しました。

新・経営戦略（令和8年3月策定予定）	現・経営戦略（令和3年3月策定）
第1章 策定の趣旨	第1章 策定の趣旨
第2章 現状と課題	第2章 現状と課題
第3章 将来の事業環境	第3章 将来の事業環境
第4章 経営の基本方針	第4章 経営の基本方針
第5章 施策の概要	第5章 施策の概要
(削除)	第6章 整備計画
第 <u>6</u> 章 投資・財政計画（収支計画）	第 <u>7</u> 章 投資・財政計画（収支計画）
第 <u>7</u> 章 経営戦略の事後検証と見直し	第 <u>8</u> 章 経営戦略の事後検証と見直し

※ 3月上旬にパブリックコメント実施予定

第2回審議会のまとめ

下松市水道事業の将来の見通し

給水収益の減少

施設の老朽化

物価高騰
費用の増加

経営基盤の強化（財源確保策）が必要



令和8年度第1回審議会（4月以降開催予定）

- 令和8年度4事業会計当初予算について
- 下松市水道事業経営戦略の策定（改定）について

ご清聴ありがとうございました

